

人類の繁栄と家庭での美德

川村 亮子

本発表の論題は、人類の繁栄には人間の精神的な発達が不可欠であるということである。本発表では、バハイの書物に基づき、次の論点について検証した。(1)精神的発達とは具体的に何を示すか、(2)人間の精神的発達の最も盛んな時期はいつか、(3)精神的発達を助ける役割は主に誰か、(4)精神的な発達を助けるにはいつ、どのようにしたらよいか、(5)これらの問いの答えの根本となる重要なものは何か。これらについて、バハイの書物から検証した。

美德と教育

キャスリーン・リギンズ

教育で要求される美德と、美德が教育に統合される過程の両方に於いて、「人類の繁栄」は、教育と美德の関係について、多くのものを含んでいる。この文書で、あらまし述べられているように、一般教育で最も大切で、重要な要素は、現在進行中であり、そして強くなりつつある科学と宗教間の対話である。

会社と仕事での美德

テリー・リギンズ

会社は、比較的新しい機関である。ここでは、美德を使って会社を経営するとどのような効果的な結果が得られるかということを論考する。ビジネスで美德を使うと会社の財政的な結果にも肯定的な効果があらわれる。

精神的成長の必須条件

鈴木ルース

社会を精神的かつ物質的に変革させたいと思えば、まず、自己を変革することが不可欠である。どのように私たちに内在している美德を発達させ、精神的変革を遂げたらいいかということについては、バハオラとアブドル・バハは明確な指導を残された。この指導は、万国正義院によって、次の六つの要点にまとめられた。1)必須の祈りの一つを毎日唱えること、2)定期的に聖典を読むこと、3)教えについて祈りに満ちた心で瞑想すること、4)毎日、自分の行動について反省すること、5)神の教えを広めること、6)職業に従事しながら大業に奉仕することである。「これらの要点は、この時代の神の顕示者によって定められた真の精神的生活を實現する道を現している」[*Lights of Guidance*, pp. 540 - 541.]